



THE Y'S MEN'S CLUB OF IBARAKI

CHARTERED 2006



茨城ワイズメンズクラブ
2018年度~2019年度
2月報 Vor. 126
強調月間テーマ

国際会長主題 : 私たちは変えられる
アジア地域会長主題 : Action
東日本区理事主題 : 為せば、成る
関東東部部長方針 : 良いものを見つけ・つなげて・よくなる
茨城ワイズ会長主題 : 「ワイズはYMCAの「お兄ちゃん」へ！」

TOF

<2019年2月例会>

とき : 2019年2月8日 (金)

19:00~21:00

ところ : YMCA会館新館3階

司会 土谷 明男

開会挨拶と点鐘 会長 土谷 明男

ワイズソング

ワイズ信条

- 1 自分を愛するように
隣人(りんじん)を愛そう
- 1 青少年のためにYMCAに尽くそう
- 1 世界的視野をもって
国際親善をはかろう
- 1 義務を果たしてこそ
権利が生ずることをさとう
- 1 会合には出席第一
社会には奉仕第一を旨としよう

今月の聖句・食前感謝

卓話 飯田様(土谷ワイズご友人)
『米国の生活』

ハッピーバースデー&
おめでとう結婚記念日

スマイル

報告と協議

茨城YMCA報告 大澤 篤人

閉会挨拶と点鐘 会長 土谷 明男

★巻頭言①★

おやじの会 1周年

和田 賢一

茨城 YMCA でファミリーキャンプがスタートし、今年度で5年目を迎えました。秋の1泊キャンプと冬の2泊のスキーキャンプを実施し10回を迎え、今年度からは秋も冬も定員10家庭以上の申込が寄せられるようになりました。タイトルにある『おやじの会』は2017年度(一昨年)の冬ファミリースキーキャンプ中の出来事です。ファミリーキャンプでは、子どもが寝た後に親とリーダーで有志の交流会を開いております。その席で話されることは、子ども・家族・YMCAの事、はたまた学生や社会人リーダーの成長や社会にでていくためのアドバイスなど多種多彩に話されます。その中で、リーダーや子ども、そしてYMCAのためにお手伝いしたいとそこにいたおやじ(おとうさん)達7名+和田の8名で発足しました。

キャンプ後からは、3月チャリティーバザー(やきそば出店)、4月かすみがうらマラソン(給水ボランティア)、5月親睦会(おやじの会のみ)、10月バザー(ポップコーン出店)、10月チャリティーラン(たすきリレー1チーム+家族や個人でも3チーム出場、最速賞と宣言タイム2位を獲得)、11月大曾根児童館まつり(出店お手伝い)、12月忘年会(おやじの会家族とスタッフ、リーダーOBOGが参加)と1年を通して大きな支えとなりました。2018年度の秋・冬のファミリーキャンプに参加された方でもさらにおやじの会に入会し、現在13名ほどでやり取りをしております。おやじの会では今後もYMCA イベントへの参加以外にもリーダーへの就活セミナーなどもやっていきたいと話しております。

『おやじの会』もワイズと同じようにYMCA運動の大切な担い手であり、ゆくゆくはワイズや運営委員へとつながっていく存在かと思えます。これからもファミリーキャンプやイベントへの参加を通して、『みつかる。つながる。よくなっていく。』おやじの会へのサポートを頂けたらと思います。

写真

『おやじの会発足時の一枚(1名はもうお休みになっておりました)』



◆ワイズの目的は『YMCAの活動を支援する』となっております。その1つとしてYMCA維持会員になっていただいております。まだ維持会員登録をされていない方は、大澤までお申し出下さい。YMCAは会員団体であり、YMCAは会員に支えられ地域に根ざした活動を展開しております。維持会員とは、YMCAの使命に賛同し、その運動に主体的に参加し、YMCAの維持、発展に寄与することを願う会員です。

今月の聖句

この方にいのちがあった。このいのちは人の光であった。

光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった。

ヨハネの福音書 1章4節～5節

【茨城ワイズ 1月例会報告】

新年最初の例会を1月11日に開催いたしました。

熊谷ワイズお手製の麻婆豆腐丼をみなで囲みながら、「おきち」リーダーの『第48回全国リーダー研修会』の報告を聞きました。この春で大学を卒業され、春からは沖縄YMCAに就職されるとのこと、今後の活躍を期待いたします！

茨城YMCAにおいても、この春もまた大学を卒業したリーダーをスタッフとして迎え入れることになり、着実にこの流れが定着しているように感じます。

その後、参加したワイズメンバーそれぞれの今年の抱負を披露しあいました。以下にその一部を共有します。

「一生懸命仕事をする」
 「YMCA25周年イベントを成功させる」
 「生活を朝型に変える」
 「仙台でのアジア太平洋YMCA大会の成功に向けて、亡くなられた武林さんの分も尽力する」
 「霞ヶ浦でのサイクリングガイドの活動を広げていく」
 「ジムに週3回通う」
 「妻にジムに通ってもらって生活確立する」などなど。

最後に、次年度の役員体制・クラブ活動体制について意見交換を実施したのち、散会となりました。

今年も、楽しく、ワイズ活動を続けていきましょう！

1月例会報告

出席者 会員6名(稲本、宮田、土谷、熊谷、片山、村田)

メネット 0名

スタッフ3名 リーダー 0名

ゲスト1名 出席総数数 10名

在籍者会員数 12名 会員出席率 50%

★巻頭言②★

第九

土谷 明男

12月の師走に耳にする代表曲はといえば、やはりベートーベンの「交響曲第九」ではないだろうか？

この曲を街のあちこちから聞こえてくると、みなさん「年末」だと感じ方も多いのではないのでしょうか。

ここで「交響曲第九」の解説を少々。

第九は一時間ほどの長い交響曲です。

迫力の第一楽章、リズムカルな第二楽章、そして「癒し」の第三楽章とそれぞれの音楽の世界が広がります。

第四楽章では皆さんご存知の「Freude 喜びを」の歌詞で始まり歓喜の歌へと導いていきます。

そして大合唱の中では「Alle Menschen werden Bruder 全ての人々は兄弟となる」と。

世界の誰もが、この第九を耳にすると平和の喜びを分かり合えたい気持ちになるのではないのでしょうか。

次に「第九」の日本における歴史にも少し触れます。

第一次世界大戦で捕虜になったドイツ兵が徳島の板東で収容されます。

この収容所の所長は、国のために戦った兵士に対し「尊敬の念」を忘れなかったと言います。そんな理由からこの収容所ではある程度の自由が認められ、捕虜たちには農業・文学・音楽活動を許されました。

そんな自由な雰囲気の中、楽団が結成され、1918年6月1日、日本で初めての第九が演奏されることになりました。だから、徳島県鳴門市は日本における第九の故郷とも言えます。

余談ですが、1961年に建設され、東西冷戦の象徴であったベルリンの壁は、1989年11月10日、崩壊します。

それから一か月後の12月25日。指揮者バーンスタインによる「第九」が演奏されました。

国境を越え、歴史的な怨念を超えて、世界中から集まったオーケストラがここベルリンに集まり演奏されたことは政治的のみならず、音楽的にも画期的なことでした。

さらに、第九の作詞者はシラーでしたが、シラーの原詩にある「Freude 喜び」を「Freiheit 自由」と変えて歌われたことは記憶に残るシーンでもありました。

それから一年後、1990年10月3日、東西ドイツは統一されます。

2018年は日本で第九が初めて演奏されて100年目にあたるメモリアルな年でもありました。

その記念すべき年に私は、「第13回つくばで第九」に参加しました。合唱団150名の中の一人として、全力で「歓喜の歌」歌い上げました。

つくばから世界の人々へ、「Freude 喜びを」と！

茨城 YMCA 報告 大澤 篤人

- 1月の予定
 7日 早天祈祷会
 10日 拡大主任会
 11日 職員礼拝・職員会
 12-14日 ファミリースキーキャンプ
 19日 障がい児者自立支援活動「たんぼぼクラブ」
 19日 冬スキーキャンプ思い出会
 20日 高学年デイキャンプクラブ「トムソーヤ」
 23-24日 東日本 YMCA 職員研修会
 25-26日 全国 YMCA チャイルドケア担当者会教育・保育部会
 26-27日 全国 YMCA チャイルドケア担当者会アフタースクール部会
 27日 小学生デイキャンプクラブ「つくんこクラブ」

- 2月の予定
 2-3日 ゆきだるまキャンプ
 4日 早天祈祷会・主任会
 5日 職員礼拝・職員会
 5日 放課後子ども総合プラン研修会
 9日 障がい児者自立支援活動「たんぼぼクラブ」
 11日 小学生デイキャンプクラブ「わいっこクラブ」
 15-17日 はじめの一歩スキーキャンプ
 16日 わいわい児童クラブ保護者会・新入生オリエンテーション
 23日 未就学児デイキャンプクラブ「わんぱくクラブ」
 27日 ピンクシャツデー

★年末のキャンプラッシュを無事事故もなく終えることができました。これから春にかけてもスキーキャンプが続きます。若いスタッフが情熱を持って取り組んでいます。また、これから2月末にかけてはスタッフの研修も目白押しであり、スキルアップも図っていきたくて考えております。

★今年は茨城 YMCA 創立 25 周年の年にあたり、6 月には記念総会の開催を予定しております。ワイズとも連携して、この 25 年に YMCA に関わられた方々が一堂に会するような、実りある会としたいと考えております。

【茨城ワイズ 会計・事務報告】

昨年 12 月末以降の会計については、次月号にてまとめ報告いたします。

引き続き、会費の前納について、ご協力を賜ればと思います。

【訃報 武林 敬 (ひとし) 様】

茨城ワイズメンズクラブの初代会長を務められた武林様が、昨年未お亡くなりになりました。

元東京理科大学教授、元茨城 YMCA 理事を務められ、2011 年に奥様が牧師に献身されるまで、茨城クラブにて会員を務めておられました。

茨城ワイズより、葬儀に際してお花を送らせていただきました。ご遺族のみなさまに主からの慰めと平安がありますことをいのります。

武林様経歴

- 1949 年 3 月 26 日 大阪生まれ
 1980 年 1 月 6 日 大泉バプテスト教会 バプテストマ
 1980 年 3 月 結婚
 1984 年 4 月 大井バプテスト教会 転入
 1997 年 9 月 筑波バプテスト教会 転入
 2011 年 4 月 常盤台バプテスト教会 転入 (真智子(妻) 招聘と共に)
 2012 年 10 月 相浦光キリスト教会 転入 (真智子(妻) 招聘と共に)

茨城ワイズでの活動における写真を以下に掲載いたします。



【編集後記】

今月は巻頭言×2にてお届けいたしました。冒頭の和田さんの巻頭言にもありましたが、いま茨城 YMCA では、ワイズメンズクラブ以外にもさまざまな会合が立ち上がっています。「おやじの会」のほかにも、ボランティアリーダーOBOGと中堅スタッフによる、YMCAの活動を外部の目から見つめなおす委員会などが昨年発足し、定期的な会合が持たれています。

当ワイズメンズクラブも、ご高齢のメンバーの退会が相次ぎ、クラブ員の減少が課題となっていますが、個人的には、ワイズメンズクラブに限らず、リーダーOBOGやサービスに参加する児童生徒の保護者によって茨城 YMCA になんらかの関わりを持つ人が増えることは良いことだと考えています。

さまざまな形で関わる方がどこかのタイミング

(例えば 25 周年総会) で交じり合い、茨城 YMCA を側面からサポートすることができれば幸いです。

<例会写真↓>

